

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

|              |   | 学校名  | 県立七戸養護  | 学校      |
|--------------|---|--|---|---------|
| 授業について       | 教科領域名<br>(✓又は■で記入する。)   | <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽<br><input checked="" type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭<br><input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導<br><input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動<br><input type="checkbox"/> その他( ) |   |         |
|              | 単元(題材)名   | 桜の絵を描こう  |   |         |
|              | 単元(題材)の目標   | ・筆の走りやスタンプで現れる形を生かして、桜を表現することができる。【思・判・表】<br>・筆やスタンプを正しく使うことができる。【知・技】<br>・描きたい桜を見付け、絵に描いて表現しようとする。【態】   |   |         |
| 学習集団と実態      | 学部・学年・人数  | 小学   | 部   | 6 年 7 人 |
|              | 本単元(題材)における学習集団の主な実態  | ・自閉症スペクトラム症やADHDの障害をもつ児童がいる重複学級である。<br>・全体や部分を意識しながら、自分なりにテーマに沿って描くことができる児童と、一筆ずつ教師と一緒に確認しながら絵を描くことができる児童がいる。  |   |         |
| I C T 活用について | 使用した支援機器・教材の名称  | iPad、アップルペンシル  |   |         |
|              | 使用したアプリケーションの名称   | 写真(マークアップ機能)   |  |         |
|              | 主な活用の用途<br>(✓又は■で記入する。)   | (複数選択可能)<br><input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 ( <input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援 )<br><input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 )<br><input type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 )<br><input type="checkbox"/> 実態把握支援  |   |         |
|              | I C T 活用のねらい  | ・写真を見るだけでは何を画用紙に描き表したら良いか分からない児童のために、マークアップで描くものをはっきりさせ、その形や色に集中できるようにする。  |   |         |
| 活用の状況と支援     | ・ iPad のカメラで撮影した写真の編集機能の中にある「マークアップ機能」で、写真の枝のラインをアップルペンシルで描き示した。<br>・ 枝のラインがはっきりすることで、絵全体の構図が描きたい桜の写真に似てくるので、児童が上手に描くことができているという気持ちをもって作品作りができた。<br>・ マークアップによって、どの枝を描くのかははっきりした上に、枝が真上にまっすぐ伸びているだけでなく、いろいろな方向に伸びていることに気付きながら、作品を作ることができた。<br>・ どの枝を表現しようとしているのかを、児童と教師とで共有することができ、筆の走らせ方や絵の具の付け具合などの指導も的確にできた。<br>・ 写真だけで描ける児童、自分で見付けた枝をマーカーしてから描く児童、教師が枝をマーカーしたのを見て描く児童と、児童の技能や認知に応じることで各児童の特徴が表現された作品ができた。 <div style="float: right; border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">  </div> |  |   |         |